

名古屋市見晴台考古資料館 **年報** 42

2024(令和6)年度事業報告

2025

名古屋市見晴台考古資料館

2024（令和6）年度

I 事業概要

1 展示

（1）本館常設展

「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」

会期：通年

展示日数：297日

利用者数：23,843人

内容：見晴台遺跡について詳しく知ることができるよう、見晴台の歴史を、時代を追って紹介。見晴台で暮らした人々をテーマに、主に衣食住に関する出土品を展示。昭和時代では、笠寺高射砲陣地から見つかったアメリカ軍爆撃機 B29のジュラルミン破片も展示。また、見晴台遺跡第55・56・57次発掘調査で出土した遺物も展示。

展示点数：142点



「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」展示風景

（2）住居跡観察舎パネル展「原始・古代の住居」

会期：通年

展示日数：297日

利用者数：23,843人

内容：原始・古代の建物である竪穴住居や高床倉庫、祭殿などについて、床（生活面）を持ち上げる高床式と、そうではない竪穴式（平地式）の2通りに分けて紹介。それぞれの様式の利点はどこにあるのか、現在見ることができる建物からアプローチした展示。



パネル展「原始・古代の住居」展示風景

（3）住居跡観察舎パネル展

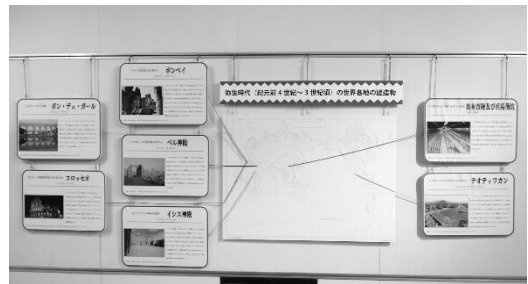
「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」

会期：通年

展示日数：297日

利用者数：23,843人

内容：見晴台に竪穴住居が造られた弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物をパネルで紹介。



パネル展「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」展示風景

（4）本館第1回企画展「南区の遺跡」展

会期：令和6年3月24日（日）～6月23日（日）

展示日数：76日

利用者数：6,997人

内容：桜木町遺跡・扇田町遺跡・春日野町遺跡など8遺跡から出土した、縄文土器、弥生土器、土師器、須恵器、埴輪、和鏡などを展示。

展示点数：55点（このうち4点が模型）

（5）本館第2回企画展「SDGs な昔の暮らし」展

会期：6月30日（日）～9月23日（月/祝）

展示日数：72日

利用者数：4,090人

内容：縄文時代から近代に至る暮らしの工夫を紹介。

展示点数：65点

（6）本館第3回企画展「古墳時代のナゴヤー古渡遺跡群一」展

会期：9月28日（土）～1月19日（日）

展示日数：90日

利用者数：7,413人

内容：名古屋市域の古墳時代を紹介。

展示点数：61点

(7) 本館第4回企画展「西区比良遺跡と弥生文化」展

会期：1月25日（土）～3月23日（日）

展示日数：49日

利用者数：4,840人

内容：名古屋市西区の遺跡を中心に、弥生文化の始まりを考える展示。

展示点数：53点

(8) 本館ロビー展「笠寺台地の遺跡分布とハザードマップ」展

会期：令和6年2月16日（金）～6月23日（日）

展示日数：107日

利用者数：10,091人

内容：ハザードマップを見ると、笠寺台地が水害の少ない高台であることが分かる。笠寺台地の遺跡分布を知ること、安全な場所を知ることが目的とした。

展示点数：パネル9点

(9) 本館ロビー展「瓦ざんまい―尾張元興寺跡の出土品から―」展

会期：令和6年2月16日（金）～6月23日（日）

展示日数：107日

利用者数：10,091人

内容：尾張元興寺跡から出土した瓦を紹介。

展示点数：8点

(10) 本館ロビー展「なごやの縄文遺跡」展

会期：4月2日（火）～3月30日（日）

展示日数：297日

利用者数：23,843人

内容：パンフレット「大曲輪貝塚縄文図鑑」刊行にあわせ、名古屋市内で出土した縄文時代の土器・石器・骨角器を展示。

展示点数：13点

※「大曲輪貝塚縄文図鑑」は名古屋市教育委員会発行

(11) 本館ロビー展「戦争と平和を考える」展

会期：6月30日（日）～9月23日（月/祝）

展示日数：109日

利用者数：7,948人

内容：名古屋市内の発掘調査で出土した戦前期のものや、戦災で焼けたビンなどを展示。また、市内に残る軍事施設の跡や空襲の傷跡をパネルで紹介。

展示点数：25点

※パネル展示は11月7日（木）まで継続したため、展示日数・利用者数は延長した期間のものを提示。



ロビー展「戦争と平和を考える」展 展示風景

(12) 本館ロビー展「土人形」展

会期：9月28日（土）～1月5日（日）

展示日数：120日

利用者数：10,715人

内容：土人形は人物の形だけでなく、神仏・動物・建物・玩具などがある。江戸時代の人々の祈り・遊び・愛玩など心にふれることができる展示。

展示点数：32点

※当展示は延長して「土人形の魅力」展を2月24日（月/祝）まで展示したため、展示日数・利用者数は延長した期間のものを提示。

(13) 本館ロビー展「令和6年度 見晴台遺跡 今年の発掘パネル」展

会期：11月14日（木）～1月5日（日）

展示日数：109日

利用者数：8,974人

内容：見晴台遺跡第58次発掘調査の成果を、写真パネルで紹介。

展示点数：パネル16点

※当展示は3月30日（日）まで延長したため、展示日数・利用者数は延長した期間のものを提示。

(14) 本館ロビー展「天白区で採集された石器」展

会期：8月12日（月/祝）～3月28日（金）

展示日数：185日

利用者数：15,065人

内容：一個人の方が名古屋市天白区相生山緑地や天白公園で採集した石器を紹介。

展示点数：56点

(15) 本館ロビー展「熱田区の遺跡分布図とハザードマップ」展

会期：2月15日（土）～3月30日（日）

展示日数：37日

利用者数：4,442人

内容：熱田区の遺跡分布図とハザードマップを比べることで、昔の人がどこに住んでいたかを確認、防災について考えてもらう展示。

展示点数：パネル8点

（16）本館ロビー展「まだまだあるゾ！見晴台遺跡」展

会期：3月1日（土）～3月23日（日）

展示日数：20日

利用者数：1,613人

内容：見晴台遺跡から出土した遺物を展示。

展示点数：21点

（17）本館ロビー展「梅まつり 特別陳列」

会期：2月22日（土）～3月2日（日）

展示日数：8日

利用者数：2,151人

内容：見晴台考古資料館梅まつり（2月22日・23日）にあわせて、勾玉などを展示。

展示点数：4点

（18）本館ロビー展「名古屋市見晴台考古資料館×SDGs なごや環境大学」

会期：通年

展示日数：297日

利用者数：23,843人

内容：「なごやSDGs街」の参加施設としてパネルを展示した。当館はSDGsの「4 質の高い教育をみんなに」「11 住み続けられるまちづくりを」「16 平和と公正をすべての人に」に該当する。昔の人々の遺産を通して、自然との共存や平和の大切さを学んでもらうことを目的とした。

展示点数：パネル2点

（19）本館ロビー展「イッピン展」

会期：月毎

展示日数：297日

利用者数：23,843人

内容：名古屋市内の発掘調査で出土した遺物のなかから、一点を選び毎月紹介。

4月：有舌尖頭器

5月：石皿

6月：弥生土器 パレス壺

7月：弥生土器 パレス壺

8月：弥生土器 手焙形土器

9月：弥生土器 甕

10月：陶器 牡丹文有筋壺

11月：弥生土器 高坏

12月：円筒埴輪

1月：縄文土器 深鉢

2月：弥生土器 高坏

3月：弥生土器 甕

（20）地域連携「桜田中学校美術展」

会期：1月11日（土）～2月11日（火/祝）

展示日数：26日

利用者数：1,615人

内容：桜田中学校の生徒が制作した美術の優秀作品を展示。

（21）さわってみようコーナー

会期：通年

展示日数：297日

内容：見晴台遺跡出土の弥生土器片に触れるコーナー。

2 教育普及

（1）見晴台遺跡第58次発掘調査

①調査概要

調査期間：9月17日（火）～11月19日（火）

うち、市民参加は19日間。

市民参加者：168名（うち、小中学生26名）

延べ291名

趣旨：市民に見晴台遺跡の発掘調査に参加・見学していただき、考古学や埋蔵文化財についての理解や関心を深めることを目的とする。

〔関連事業〕

発掘調査事前説明会

期日：9月20日（金）・9月21日（土）・9月22日（日）

参加者：169名

②現地説明会

期日：10月27日（日）

内容：名古屋市教育委員会文化財保護課職員と市民発掘参加者が今年度の調査の全体の様子と最新成果を現地で紹介。

参加者：50名

③調査成果

調査位置：名古屋市南区見晴町

調査原因：学術調査

調査面積：約96㎡

調査主体：名古屋市教育委員会文化財保護課

報告書等：2025（令和）7年中報告書刊行予定

第1回の発掘調査から60年、見晴台考古資料館開館から45年という記念すべき年に、平成30年度から一時休止していた市民発掘を再開した。

今年度の調査では、2か所の調査区を設定した。環濠集落の端を確認するためのA区と環濠の位置確認及び低地部の遺構残存状況の確認のためのB区である。

A区では竪穴建物跡等の弥生時代の集落に関する遺構は確認できなかった。調査区の南半分を戦後のかく乱が占める。かく乱内には大型のコンクリートが多数廃棄されており、かつて見晴台にあった陸軍の施設を破壊した時の廃棄土坑と思われる。北半分も近現代の造成の影響を受けていた。いくつかの土坑や溝を検出し、土器片（弥生土器）や山茶碗の小皿などが出土したが、弥生時代の遺構と断定できたものはなかった。弥生時代の遺構は滅失している可能性が高い。

B区では環濠を2本検出した（SD01、SD04）。内濠のSD01埋土からは管玉（緑色凝灰岩）1点と勾玉（ヒスイ）1点が出土した。勾玉は見晴台遺跡で約25年ぶりの発見である。調査区中央部では中世の溝（SD03）を検出した。B区からは赤彩土器片や台付甕片なども出土した。低地部では遺構・遺物は確認されず、常時水が湧いてしまうため、市民発掘には向かなかった。



調査の様子

（2）月例映画会

毎月第3土曜日に歴史や文化に関連した映画を上映し

た。

新型コロナウイルス感染症対策として、参加者に検温などによる事前の体調管理や、必要に応じたマスクの着用・手指消毒をお願いしたほか、席を離しての会場設営と換気を行った。

令和6年度から「定例映画会スタンプカード」を作成し、映画会参加者にスタンプの数に応じてオリジナル缶バッジなどをプレゼントした。

参加者数：延303人

4月20日 参加者：29人

その時歴史が動いた 「織田信長 捨て身の復讐戦」

5月18日 参加者：27人

その時歴史が動いた 「徳川家康 三方原の大ばくち」

6月15日 参加者：32人

その時歴史が動いた 「本能寺の変 信長暗殺！」

7月20日 参加者：21人

その時歴史が動いた 「羽柴秀吉 なぞの敵前退去」

8月17日 参加者：30人

アニメ 「火垂るの墓」

9月21日 参加者：31人

その時歴史が動いた 「伊達政宗 百万石への挑戦」

10月19日 参加者：17人

その時歴史が動いた 「満州事変」

11月16日 参加者：20人

その時歴史が動いた 「三国同盟締結」

12月21日 参加者：20人

その時歴史が動いた 「戦艦大和沈没」

1月18日 参加者：26人

その時歴史が動いた 「ラストエンペラー最期の日」

2月15日 参加者：27人

その時歴史が動いた 「昭和天皇とマッカーサー・会見の時」

3月15日 参加者：23人

四大文明 「中国 黄土が生んだ青銅の王国」

（3）団体利用（施設見学や展示解説など）

4月13日	濃尾各務原地名文化研究会&濃尾平野を歩く会	27人
4月20日	デイサービス アクト	12人
5月1日	菊住小学校6年生（南区）	93人
5月2日	大生小学校5・6年生（南区）	60人
5月2日	桜小学校5・6年生（南区）	92人
5月2日	春日野小学校6年生（南区）	66人
5月23日	よびつぎこども園	41人

5月30日	笠寺小学校6年生(南区)	85人
5月31日	よびつぎこども園	41人
6月5日	呼続小学校6年生(南区)	69人
6月6日	正木小学校6年生(中区)	55人
6月7日	長根台小学校6年生(緑区)	72人
6月14日	桃山小学校6年生(緑区)	92人
6月14日	一火会	22人
6月21日	平子小学校6年生(緑区)	79人
6月27日	よびつぎこども園	35人
7月2日	笠東小学校6年生(南区)	60人
7月6日	一宮友歩会	35人
7月24日	桜台高校夏期講座	4人
9月20日	歩いて知ろうOB会	32人
9月20日	名古屋市教育委員会文化財保護課	40人
9月21日	名古屋市教育委員会文化財保護課	50人
9月22日	名古屋市教育委員会文化財保護課	70人
9月28日	名古屋市教育委員会文化財保護課	15人
9月29日	名古屋市教育委員会文化財保護課	11人
10月3日	名古屋市教育委員会文化財保護課	16人
10月4日	名古屋市教育委員会文化財保護課	15人
10月5日	名古屋市教育委員会文化財保護課	15人
10月6日	名古屋市教育委員会文化財保護課	14人
10月8日	中日文化センター 考古学ウォーキング	25人
10月10日	名古屋市教育委員会文化財保護課	16人
10月11日	名古屋市教育委員会文化財保護課	18人
10月12日	名古屋市教育委員会文化財保護課	20人
10月12日	体感!しだみ古墳群ミュージアム しだみゅー散策	15人
10月13日	名古屋市教育委員会文化財保護課	15人
10月14日	名古屋市教育委員会文化財保護課	20人
10月17日	名古屋市教育委員会文化財保護課	19人
10月18日	名古屋市教育委員会文化財保護課	14人
10月19日	名古屋市教育委員会文化財保護課	12人
10月19日	NHK文化センター ブラタモリ案内人と 歩く	19人
10月20日	名古屋市教育委員会文化財保護課	12人
10月24日	名古屋市教育委員会文化財保護課	15人
10月24日	朝日文化カルチャーセンター	11人
10月25日	名古屋市教育委員会文化財保護課	14人
10月26日	名古屋市教育委員会文化財保護課	13人
10月27日	名古屋市教育委員会文化財保護課	64人
11月2日	豊川市教育委員会生涯学習課	14人
11月7日	愛知県シルバーカレッジOB	11人

11月7日	豊川市教育委員会生涯学習課	17人
11月27日	哲学たいけん村無我苑	7人
12月3日	南歴歩マイスター	19人
12月4日	鯉城学園大学	35人
12月6日	鯉城学園大学	36人
1月25日	富士見台小旧5年5組	6人
2月11日	南歴歩マイスター	24人
2月18日	愛知シルバーカレッジ史跡めぐり	20人
2月20日	セントラル内田橋	13人
3月4日	南歴歩マイスター	30人

※9月20日～10月27日の「名古屋市教育委員会文化財保護課」は見晴台遺跡第58次発掘調査の参加者の人数。

(4) 職場訪問

12月12日	平針中学校1年生(天白区)	7人
1月22日	東陵中学校1年生(緑区)	9人
1月22日	津賀田中学校1年生(瑞穂区)	12人
1月22日	神の倉中学校1年生(緑区)	20人

(5) 刊行物

『令和6年度 名古屋市見晴台考古資料館 展示の記録』
A4版 14頁 200部
「見晴台遺跡カード」
全8種類 4,000枚
「見晴台考古資料館シール」
1,000部

(6) 講演会

●講演会「古墳時代年魚市湯の港津を考える」

期日：4月13日(土)

主催：濃尾平野を歩く会・濃尾・各務原地名文化研究会

共催：見晴台考古資料館

講師：伊藤厚史(当館学芸員)

●春季講演会「名古屋城を守る ―熱田宮宿の防備を中心に―」

期日：5月25日(土)

会場：名古屋市見晴台考古資料館

講師：伊藤厚史(当館学芸員)

参加者：28人

●講座「あいちの遺跡をまなぼう 戦争遺跡から名古屋市中区の戦争を探る」「軍事施設跡と国民の暮らし」

期日：6月8日（土）
主催：愛知県生涯学習推進センター
会場：愛知県教育会館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●一火会講演会「あゆち潟の港と古墳」

期日：6月14日（金）
主催：南区役所
共催：見晴台考古資料館
会場：名古屋市見晴台考古資料館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●講演会「考古学から見た屯鶴峯地下壕の様相」

期日：8月3日（土）
主催：NPO 法人平和のための香芝戦争展
会場：香芝市ふたかみ文化センター
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●夏休み特別講座「発掘された高射砲陣地跡」

期日：8月4日（日）
主催：愛知・名古屋 戦争に関する資料館
会場：愛知・名古屋 戦争に関する資料館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

（7）なごやSDGsスタンプラリー

期日：7月20日（土）～9月1日（日）
主催：「なごや環境大学」実行委員会事務局
内容：SDGsを学ぶことができる施設として名古屋市内
外で展開している「SDGs フィールド」を周遊するスタ
ンプラリー。当館も対象施設の一つとして協力した。

3 地域連携

（1）ウォーキング

●まち歩き「古墳時代の年魚市潟の高低差を歩く～笠寺
台地の港津を歩く～」

期日：4月13日（土）
主催：濃尾平野を歩く会・濃尾・各務原地名文化研究会
共催：見晴台考古資料館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●まち歩き「第5回 ブラカサデラ」

期日：4月27日（土）
主催：笠寺学区公民会
共催：見晴台考古資料館

講師：伊藤厚史（当館学芸員）
参加者：32名

●鶴舞公園ガイドツアー スペシャル企画「八幡山古墳
歴史散歩」

期日：5月4日（土/祝）
主催：鶴舞公園名古屋市緑化センター
共催：見晴台考古資料館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●まち歩き「御器所台地の暗渠と古墳・神社の軸線を歩
く」

期日：5月18日（土）
主催：濃尾平野を歩く会・濃尾・各務原地名文化研究会
共催：見晴台考古資料館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●まち歩き「尾張氏の本拠地「火上山」を歩く」

期日：6月1日（土）
主催：濃尾平野を歩く会・濃尾・各務原地名文化研究会
共催：見晴台考古資料館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●まち歩き「まちなかに残る戦争の傷痕を訪ねる」

期日：6月15日（土）
主催：愛知県生涯学習推進センター
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●まち歩き「戦争のつめ痕めぐり」

期日：11月23日（土）
主催：愛知・名古屋 戦争に関する資料館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●まち歩き「ブラダバシ～歩いて探る地域の歴史と文化
～」

期日：1月11日（土）
主催：明治・内田橋堀川まちづくり協議会
共催：見晴台考古資料館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

●まち歩き「うえた歴史発見」

期日：2月2日（日）
主催：植田校区市民館
講師：伊藤厚史（当館学芸員）

（２）「遺跡を訪ねて防災を知る」展

会期：８月26日（月）～９月30日（月）

共催：南区役所企画経理課

会場：名古屋市南区役所

内容：防災関連パネルを南区役所に貸し出して展示。

展示点数：パネル９枚

※９月14日（土）は当館で展示。

（３）伊勢湾台風のことを知っていますか？

～伊勢湾台風の襲来から65年を迎えて～

期日：９月14日（土）

主催：南区役所地域力推進課

会場：名古屋市見晴台考古資料館

内容：伊勢湾台風の当時の様子を記録した映像を放映したほか、当館学芸員が「遺跡を訪ねて防災を知る」をテーマに講演を行った。

参加者：15名

（４）「弥生の御朱印巡り」

開始日：令和５年10月７日（土）

企画：鳥取県

内容：弥生時代関連35遺跡と38施設を巡り、各地の御朱印を取得するイベントにて、参加施設の一つとして協力した。見晴台遺跡の御朱印を考案し、参加者に配布した。

配布枚数：227枚（令和６年度分）

（５）デジタルマップでめぐる！名古屋ぐるとツアー

会期：11月１日（金）～12月27日（金）

主催：名古屋観光コンベンションビューロー

運営：株式会社パー

内容：「名古屋観光デジタルマップ」を活用した周遊イベントにて、「観光」スポットの一つとして協力した。

（６）みなみウォーク 2024

会期：11月16日（土）～11月17日（日）

主催：南区役所地域力推進課

共催：名古屋鉄道株式会社

協力：南区スポーツ推進委員連絡協議会

内容：南区の史跡や自然を巡るコースを歩くウォーキングイベントにて、チェックポイントの一つとして協力した。

（７）南区民まつり2024

日時：11月17日（日）

会場：道德公園・道德小学校・大江中学校一帯

主催：南区区民まつり実行委員会

内容：会場にてポスターを掲示したほか、チラシ・パンフレットを配布した。また、小学生以下を対象に、「ドキ！ドキ！土器釣りゲーム」を行った。

参加者：287人

（８）見晴台考古資料館梅まつり

日時：２月22日（土）～２月23日（日）

主催：見晴台考古資料館梅まつり実行委員会

後援：南区役所・南土木事務所

運営：株式会社エイティーズ

参加者：123人

内容：梅まつりに開催するイベントの一つとして協力した。「学芸員と考古資料館を探検してみよう！（バックヤードも探検）」にて、当館学芸員によるバックヤード探検を行った。あわせて梅まつり限定の特別陳列を行った。

Ⅱ 利用状況

1 利用者数など

(1) 展示会別利用者数

会場	展示会名	会期	日数	入場者数	一日平均
本館展示室	常設展「見晴台遺跡展－見晴台で暮らした人々－」	通年	297日	23,843人	80人
	第1回企画展「南区の遺跡」展	3月24日～6月23日	76日	6,997人	92人
	第2回企画展「SDGsな昔の暮らし」展	6月30日～9月23日	72日	4,090人	57人
	第3回企画展「古墳時代のナゴヤー古渡遺跡群－」展	9月28日～1月19日	90日	7,413人	82人
	第4回企画展「西区比良遺跡と弥生文化」展	1月25日～3月23日	49日	4,840人	99人
本館ロビー	イッピン展 ※1	月毎	297日	23,843人	80人
	「笠寺台地の遺跡分布とハザードマップ」展 ※2	2月16日～6月23日	107日	10,091人	94人
	「瓦ざんまいー尾張元興寺跡の出土品からー」展 ※3	2月16日～6月23日	107日	10,091人	94人
	「なごやの縄文遺跡」展	4月2日～3月30日	297日	23,843人	80人
	「戦争と平和を考える」展 ※4	6月30日～11月7日	109日	7,948人	73人
	「土人形」展 ※5	9月28日～2月24日	120日	10,715人	89人
	「令和6年度 見晴台遺跡今年の発掘パネル」展 ※6	11月14日～3月30日	109日	8,974人	82人
	「熱田区の遺跡分布図とハザードマップ」展	2月15日～3月30日	37日	4,442人	120人
	「まだまだあるゾ！見晴台遺跡」展	3月1日～3月23日	20日	1,613人	81人
	「梅まつり 特別陳列」	2月22日～3月2日	8日	2,151人	269人
	名古屋市見晴台考古資料館×SDGs	通年	297日	23,843人	80人
	「天白区で採集された石器」展	8月12日～3月28日	185日	15,065人	81人
住居跡観察舎	パネル展「原始・古代の住居」	通年	297日	23,843人	80人
	パネル展「弥生時代（紀元前4～3世紀頃）の世界各地の建造物」	通年	297日	23,843人	80人

※1 イッピン展は本館ロビーにて開催。毎月一点を紹介した。

※2・3 「笠寺台地の遺跡分布とハザードマップ」展・「瓦ざんまいー尾張元興寺跡の出土品からー」展は令和6年2月16日より継続して開催したため、会期全体の日数・入場者数・一日平均を提示した。

※4・5・6 「戦争と平和を考える」展・「土人形」展・「令和6年度 見晴台遺跡今年の発掘パネル」展は延長した展示期間を提示。

(2) 月別利用者数

月	開館日数	入館者数			一日平均	団体	
		高校生以上	中学生以下	計		団体数	人員
	日	人	人	人	人	件	人
4月	24	1,585	847	2,432	101	3	71
5月	26	1,121	1,226	2,347	90	7	478
6月	25	623	1,262	1,885	75	7	424
7月	25	827	386	1,213	49	3	99
8月	26	1,462	316	1,778	68	0	0
9月	25	1,226	185	1,411	56	9	233
10月	26	2,201	976	3,177	122	21	382
11月	25	1,450	437	1,887	75	4	49
12月	23	974	268	1,242	54	4	97
1月	23	1,106	326	1,432	62	4	47
2月	24	2,289	578	2,867	119	3	57
3月	25	1,756	416	2,172	87	1	30
合計	297	16,620	7,223	23,843	80	66	1,967

2 資料の貸出

期間貸出 1件・6点 愛知・名古屋 戦争に関する資料館

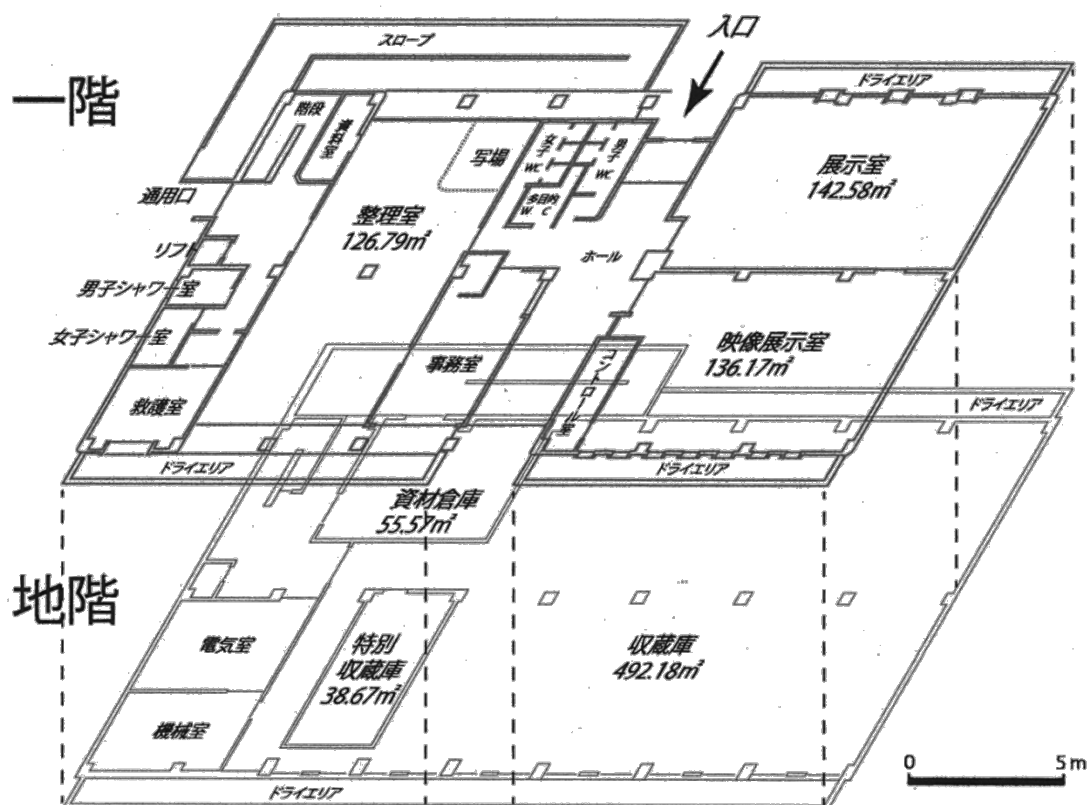
Ⅲ 施設の概要

項 目	内 容
条 例	名古屋市見晴台考古資料館条例（昭和54年7月18日条例39号）
名 称	名古屋市見晴台考古資料館
設 置 場 所	名古屋市南区見晴町47番地（笠寺公園内）
開館年月日	1979（昭和54）年10月11日
博物館登録	1980（昭和55）年1月25日（登録第8号）
建 物	公園使用許可面積1,902㎡

(1) 本館

項 目	内 容
構 造	鉄筋コンクリート造地上1階・地下1階
建築面積	672㎡
延床面積	1,381㎡（1階658㎡、地階699㎡、中2階24㎡） 展示室142.58㎡、映像展示室136.17㎡、収蔵庫492.18㎡、特別収蔵庫38.67㎡

見晴台考古資料館 本館 各室配置図



(2) 分室（西館）

項 目	内 容
構 造	軽量鉄骨造平屋建
建築面積	148㎡
概 要	遺物整理作業展示室として、1996（平成8）年から使用開始。

公園内の関連施設

見晴台考古資料館のある笠寺公園は、「遺跡のある公園」として名古屋市緑政土木局によって整備され、遺跡にかかわるいくつかの施設が設置されている。

施設名	概要	構造	備考
住居跡観察舎	発掘調査によって出土した状態が見学できる施設。内部には遺構の型取りによる原寸大の住居跡の複製を設置し、住居跡のうち1軒を推定復元。1988（昭和63）年6月15日公開。 復元住居は経年変化で傾きがひどくなったため、2013（平成25）年10月に取り壊し。2014（平成26）年10月市民参加による「竪穴式住居復元プロジェクト」にて再構築。	鉄骨造平屋建 面積365㎡	名古屋市博物館の「復元 竪穴住居」を移設するため、2024（令和6）年2月末に復元住居を撤去。同年3月末に名古屋市博物館の竪穴住居の復元模型を設置。翌年1月末に移設作業終了。
濠再現コーナー	資料館南側の弥生時代の濠跡が道路によって寸断されていた地点に、遺構保存のための土留め壁を兼ねて、濠の断面を原寸大に復元。1989（平成元）年4月5日公開。	コンクリート・モルタル・表面擬土・アスファルト	濠の大きさは幅およそ5m、深さおよそ4m
弥生の森	弥生時代の生活に関係の深い樹木を、都市緑化の推進と弥生時代の学習に役立てるために植栽。1989（平成元）年4月5日公開。		樹木（141本）の種類はヤマモモ・スダジイなど

IV 組 織

組 織

